



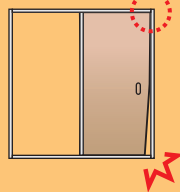
上吊り引戸(床にレール無し)が
スムーズに開閉できない
ソフトクローズがうまくきかない

チェック! 上吊り引戸の開まりかたを確認してください。

対応1 引戸の状態に合わせてランナーを調整してください。

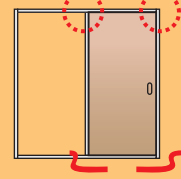
● 下部にすき間がある時

右側のランナー
を調整します



● 下部をこする時

左・右のランナー
を調整します



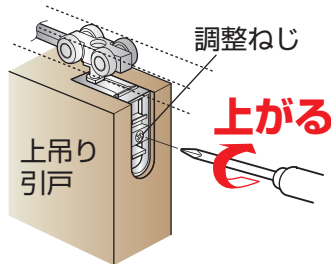
注意

● 潤滑油などをささない

● 調整する時は、手回しドライバーを使用し、**電動ドライバーは使用しない**
ドア本体が外れて、けがをするおそれがあります。



ランナーの調整方法



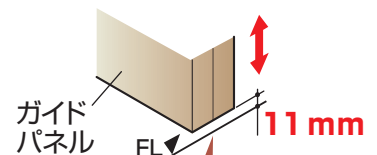
調整ねじの部分をプラスドライバーを使用して高さ調整をする

扉下部と床面のすき間が**7mm**になるようにランナーの上下調整をしてください。(床面と扉下部の間が**7mm**未満の場合、固定ピンとパネルが干渉して、ソフトクローズ機構がスムーズに動きません。)



連動タイプの場合

扉下部と床面のすき間が**11mm**になるように上下調整をしてください。



FLラインとガイドパネルの下端が**11mm**あくように高さを調整する

● 調整範囲

上に**5mm**移動

下に**2mm**移動



使用する
道具



プラス
ドライバー

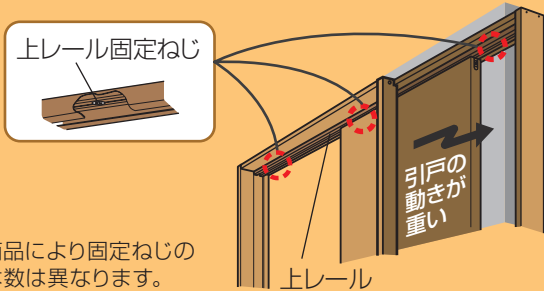
それでも解消しない場合は、次ページ「対応2」を実施ください

対応1で解消しなかった場合

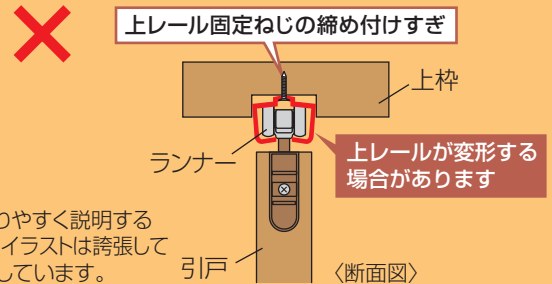
対応2 上レール固定ねじを緩めて、締め付けなおしてください

症状 ランナーと上レールが干渉して引戸の開閉が重い場合

原因 上レール固定ねじの締めすぎで上レールが微妙に変形する場合があります



※商品により固定ねじの本数は異なります。



※わかりやすく説明するため、イラストは誇張して表現しています。



警告

- 作業時は、必ず保護眼鏡を着用する
部品が落下してけがをするおそれがあります。



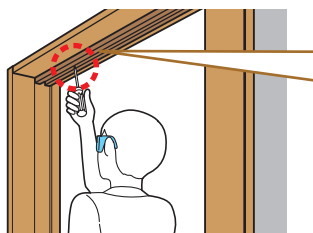
注意

- 全ての固定ねじを一度に緩めず、一本ずつ作業する
- 調整する時は、手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しない
- 上レールにぐらつきがないことを確かめる
ドア本体が外れて、けがをするおそれがあります。
- 脚立を使用して作業するときには、脚立をしっかりと固定し安全に作業をする
脚立が倒れて、けがをするおそれがあります。

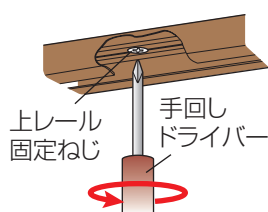


ランナーの調整方法

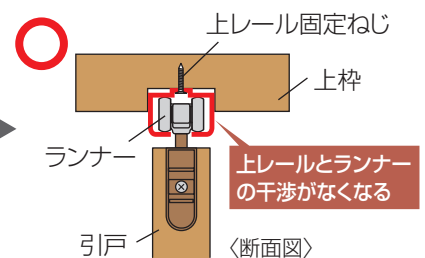
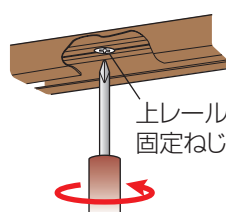
上レール固定ねじを緩めて締めなおす



① 360度まわす



② 180度もどす



- ひとまわし程度緩めた後、逆方向に半まわしほど締め付けなおしたうえで、スムーズに開閉できるかをご確認ください。
- 開閉がスムーズになるまで上記の作業を数回繰り返してください。
(ねじ頭にマジックなどで印をつけていただくと、緩めた角度がわかりやすくなります。)



印をつける

※数回やっても開閉がスムーズにならない時やレールにがたつきが生じる時は、作業を中止して当社修理ご相談窓口までご相談いただくようお願いいたします。その際は危険ですので、緩めた固定ねじを元通り締め直していただくようお願いいたします。

使用する
道具



プラス
ドライバー



保護眼鏡

長期使用時の劣化による取り扱いのご注意

